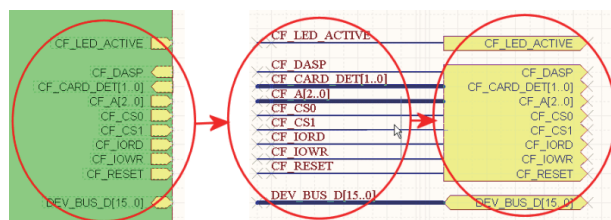


Altium Designerの機能ハイライト

スマート・ペースト

スマート・ペースト機能は、コピーしたいオブジェクトのターゲットを、別のオブジェクト形式へ変換しながらペーストできる、新しいレベルのコピー & ペーストです。この機能は、主に回路図編集での作業性を大幅に向上させます。この変換しながらのペーストは、統一化された Altium Designer の環境下で PCB および FPGA のデザインプロジェクト双方でのキャプチャに有用です。



回路図キャプチャの作業中には、デザインを作成するために、多くのオブジェクトの配置と接続が行われます。この作業中には、異なるタイプのデザイン・オブジェクトに関連する回路図情報間を接続しています。例えば、ある回路図ではバスとして、別の回路図では個別ネットとして取り扱ったり、シート上のポートが他のシートではシートシンボル内のシートエントリになる場合などがあげられます。もし、あるタイプのオブジェクトを、別のタイプのオブジェクトへと、変換しながらペーストできるなら、作業時間の短縮になると思いませんか？ Altium Designer ではそれが可能です。

スマート・ペーストを使用すると、選択したオブジェクトを他のオブジェクトへと変形させながらペーストできます。例えばネットラベルを選択し、ポートとしてペーストしたり、シートエントリを選択しポート、ワイヤ、ラベルへと一度のペースト操作で変換できます。

また、配置したい選択範囲内のオブジェクトを、完全に管理することも可能です。この機能により、ポートを選択する際に注意してワイヤを避ける必要はなく、スマート・ペーストを行う際に、選択部分の「ワイヤを無視する」チェックボックスをオフにするだけです。また複雑なデータを変換する際も、個別のワイヤ・ラベルとしてバスのネットラベルを配置、またその反対にバスラベルとしてワイヤ・ラベルを配置することができます。

もう一つの便利な機能として、選択した回路図を画像として貼り付けることができます。この機能により、他のシート上にある回路図の一部を画像として容易に取り込むことができ、必要に応じてサイズの変更も可能です。

このスマート・ペースト機能は、単に編集メニューからスマート・ペーストを実行するだけで、クリップボード内のオブジェクトを好みのタイプに変形させてペーストできます。

Altium Designer のスマート・ペーストをまだ試していない方は、ぜひこの操作に慣れてください。一旦この操作を会得すれば、デザイン・キャプチャの時間を大幅に節約できることでしょう。